

令和3年度 地域自治区予算事業計画 (12,968 千円)

《事業計画の内容》

① 地域の暮らしを守るための事業

3,557千円

◇可燃ごみ集積所整備費補助事業

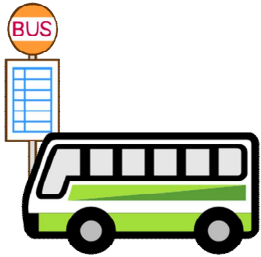
3,502 千円



- 可燃ごみ集積所におけるごみの散乱などを防止し環境美化の推進を図るため、整備費を補助します。
- ★可燃ごみ集積所設置及び改修など（徳定地区始め5地区11箇所設置分）

◇地域の足の確保検討事業

55 千円



- 交通手段として新たな仕組みの検討や、Sバス（西部線）の現状ニーズにあった運行ルートの見直し等を行い、地域住民が少しでも移動手段に困ることが無くなるよう地域の足として有効な利活用の体制整備を整え、事業化に向けた検討会議等を開催します。
- ★地域の足の確保検討委員会を定期的を開催し早期事業化を目指す。

② 地域の安全安心を促すための事業

8,643千円

◇AED 設置管理普及推進事業

1,726 千円



- 公民館や集会施設、また千郷地域内のコンビニエンスストア等へ自動体外式除細動器（AED）を整備し地域住民の安心・安全を図ります。また、あわせて千郷地区防災連絡会や関係機関、関係団体と協力し、地域の方へ AED の適正な取扱い講習を実施します。
- ★AED 設置のためのリース費用（16行政区、5店舗）、AED 講習会の開催

◇地域安全灯設置費補助事業

375 千円



- 地域安全灯設置における市既存補助金（50%）に行政区負担の軽減を図るため上乗せ補助（25%）を行い、地域安全灯の設置を推進することで地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図ります。
- ★地域協議会により策定された事業実施計画に基づき、令和3年度設置予定分の上乗せ補助を行う。（徳定地区始め5地区19箇所設置分）

◇まちづくりロード形成事業

64 千円



- 平成27年度に地域を跨ぎ、人通りが多い公共空間や主要道路に設置された照明灯の適正な維持管理を次年度も継続的に実施し、地域計画にあるように安心して暮らせるまちを目指し地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図ります。
- ★国道151号線（杉山北交差点～川田跨線橋付近間）計10箇所

◇千郷地区防災施設備品等整備事業

6,041 千円



- 千郷地域における市の指定避難所の防災資機材等の計画的な設置及び、各行政区における自主防災会への防災備品整備を進め有事に備えます。
- ★千郷地区防災連絡会により策定された防災資機材等整備実施計画に基づき、主に市指定避難所での使用を想定した各種備品整備を実施。
- ※簡易ダンプ・トラック化、ブルーシート、ロードリール、発動発電機、投光器、台車など

◇千郷地域防災フェスタ等開催事業

200 千円



- 避難所での千郷地域全域を対象とした防災訓練又は防災イベントを企画・開催し、地域の方の防災意識向上と防災に関する地域活動の充実・強化を図ります。
- ★千郷地域独自の防災関連イベント等の企画・開催
- ※「ちさと防災フェスタ 2021」
- ※「ちさと防災座談会」

◇地域景観向上事業

237 千円



- 環境美化活動として地域内の各所にプランターを置き、花などの生育管理と同時に、子どもたちの登下校時の見守りにつなげるため「通学路花街道（仮称）」づくりを進め、子どもたちの登下校時の安全確保の強化を図ります。
- ★本事業の趣旨に賛同いただき、ご協力していただける地域の方々により、令和3年度は実施計画書に基づき前年度より継続設置も含め89個のプランター設置を予定。

③ 地域の伝統文化等継承・活性化するための事業

339 千円

◇歴史遺産の整備事業

339 千円



- 千郷地域の重要歴史遺産等の調査・研究を実施し、簡易な案内看板や説明看板を計画的に設置し、地域の歴史的財産として良好に保存や整備を進めるとともに、市内外の方へのPR促進を図り、あわせて地域活性化に向けた他事業等へお発展も同時に目指す。
- ★千郷地域の歴史遺産への簡易な説明看板の設置と JR 飯田線野田城駅前駐輪場への野田城址の案内看板を製作・設置を実施予定。

④ 地域の活性化を図るための事業

429 千円

◇地域とこどものふれあい事業

429 千円



- こども達の自主性や社会性などを育成し、地域とこどもの顔が見える関係づくり構築を目的とした企画・事業実施を行います。また、令和3年度は試行的な取り組みとして地域拠点等における施設開放を実施し、こどもはもちろん地域住民が何時訪れても安心して気兼ねなく集える居場所づくりを進めます。
- ★千郷地域内におけるプレーパークの企画開催、地域拠点施設開放の実施（試行）